

解説

中学校3年音楽 新作歌舞伎「日本発文化架橋」～文化紹介ドリームプラン

授業者：附属中学校教諭 向田瑞貴

解説タイトル：外国人に好まれる歌舞伎の模索：「他者理解力」の育成

コンピテンシー育成開発研究所 特任准教授

下島泰子

本授業は新作歌舞伎を制作することを意図し、音楽、舞台、衣装、役者を選び、演出を考えるという授業である。日本の伝統芸能の中で使われている音楽を理解した上で、既にある歌舞伎の様式と、新しい表現方法（アニメ・ゲーム原作の歌舞伎化、役者の多様化、音楽の多様化）を組み合わせ制作する。まず、伝統的な歌舞伎の基本を学んでから鑑賞し、独自の新作歌舞伎を個人で考え、それぞれ発表し合うという流れである。海外の人にどのようにアピールできるかを生徒たちが考えた。

「創造的思考力」の育成を意図したものであるが、文化的背景の異なる他者がどのように日本文化を捉えるか、歌舞伎のどのような様式が外国人に好まれるか検討するという点では「他者理解力」を育成しうると考えられる。学習班で検討し、発表を行うということで「協働力」の育成も可能である。新作歌舞伎の今後の可能性や伝統芸能を未来につなげていくことについて考えることにより、「省察的思考力」や「問題解決力」の育成にもつながる。